

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいと
さいたま市立 道祖土小学校

> 学校キャラクター
うさりん



心豊かで たくましい 道祖土っ子の育成
～認め合い・学び合い・高め合う～

- 授業のユニバーサル化を進め、基本的な学力の定着を図る。
- 多様な考え方を認め尊重する態度を育てる。
- 状況に応じた適切な対応能力や自助・共助意識をはぐくむ。

(本校の教育目標からSDGsと関連があるものを抜粋)

■所在地：さいたま市緑区道祖土1丁目1番1号 ■電話：048-885-2512
■FAX：048-811-1328 ■交通：JR 浦和駅から約2km 最寄バス停 浦和パークハイツ

01 平和な社会づくり、よりよい未来づくりのための取組



【今、自分たちにできることを考える】

6年生の総合的な学習の時間において「みんなで考えて、みんなが自分の考えを発言して、みんなで学ぶ。」をめあてにSDGsの学習を行った。ボランティア団体「世界に目を向けようー今、私たちにできることー」代表の金子玲子様による授業を行い、地球市民の視点から、今、自分たちにできることを考えた。



【オンライン授業による合同授業の実施】

持続可能な開発目標について理解を深めるために、SDGsの目標を達成するためのアクションプランを「SDGsの木」としてまとめた。また、さいたま市立大東小学校とオンラインで合同授業を行い、それぞれの「SDGsの木」を紹介し合った。

02 望ましい食習慣を身に付けるための取組



【残食を減らす工夫を全校で統一して取り組む】

発達段階や個に応じた指導に配慮しつつ、残食を減らし、食物を大切にすることを意識を高める取組をしている。例えば、一人ひとりが食べられる量を教員が器によそい、食べ終わったらおかわりをするというように手順をそろえた。また、「学校の新しい生活様式」に合わせた食事の仕方についても統一した。



【食物アレルギーに対する配慮を通して助け合える人間関係をつくる】

代替給食などの特別な措置が必要な児童に対して、本校では、いちばん早く配膳を終わらせ、安全確保を徹底する。また、学級の友だちが職員室まで「アレルギー対応が正常に終わったこと」を伝えに來たり、使用する水飲み場を分けたりする。そのような活動を通して助け合える人間関係を醸成する。

03 人権感覚を養い、差別をなくすための取組



【自分の意見を持ち、他者の意見に耳を傾ける】

市教育委員会の委嘱を受け、特別活動（学級会）における話し合い活動の研究に取り組んだ。グローバル社会を見据えて、話し合いのスキルを上達させ、みんなが納得できる結論や合意形成が得られるようにする。また、誰もが自分の意見を抵抗感なく表明できるようにすることで、いじめや差別を許さない雰囲気作りにつなげていく。

